

分科会開催報告書

報告日 平成30年11月29日	報告者 小幡友子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 第124回浮雲俳句会
開催日時 平成30年11月25日(日) 午前9時30分～午前11時30分	開催場所 能見台地区センター多目的室—A—
参加人数 “わ”の会会員 男11名 女5名 合計 16名 欠席者 1名	

実施内容

第124回例会は、兼題①天狼②時候（初冬）他に当季雑詠2句。計4句。句会は、大川一馬会員による添削披露及び、西村あきえ会員による選句の披講の後、北野主宰から、天・地・人賞及び、特選6句、佳作7句の発表と夫々の句についての論評があった。

天賞句	一点到天狼宙の大三角	十 九
地賞句	時雨忌や湖岸の灯火けぶりをり	重 九
人賞句	幾光年隔つ天狼燦然と	一 馬
特選句	天狼や歌舞伎の子役初舞台	とも女
	天狼の青き輝き魁夷展	二 祥
	天狼の青き眼光宇宙射る	和 女
	はやばやと酸ヶ湯温泉雪しまく	三 洋
	流行風邪女医はちくりと小言混ぜ	國 眼
	花八つ手百間廊下朝まだき	あきえ

会員高点句

8点句	風の研ぐ水音きりり冬初め	和 女
7点句	雨やどりする葉に迷ふ枯蠅螂	十 九
7点句	流行風邪女医はちくりと小言混ぜ	國 眼

次回の予定

平成30年12月23日(日) 午前9時30分～午前11時30分

能見台地区センター多目的室—A— 125回例会は、兼題①星座②天文（仲冬）他に当季雑詠2句。

披講 大谷二祥会員